



日本鑄造工学会講演大会の講演概要見本 及び原稿の書き方

鑄造大学 (院) ●青銅秀樹 鑄造大 鑄物一郎, 鑄造鉄男
(株)鑄物工業 鑄物太郎 鑄造大学 軽合金夫

19 mm 82.5 mm 7 mm 82.5 mm 19 mm

1. はじめに

日本鑄造工学会の編集委員会で定めた講演大会の原稿フォーマットを示す。

原稿はワープロソフトにより、1講演につき原稿用紙1枚に記述する。題名、所属、氏名を原稿用紙の所定の位置に記入し、講演者氏名の前に○印（講演時、学生の場合●）を付ける。

題名は内容を具体的に表現し、副題は設けない。「～の研究、第○報」のような連続報告の形式にせず、「～に関する研究」、「～について」等の表現は省略する。題名、氏名は日本語で記入し、講演申込みと必ず一致させる。

2. 原稿作成概要

なるべくホームページからダウンロードしたテンプレートを利用する。

2.1 原稿用紙

原稿用紙はA4の白紙を用いて本様式と同じ縦書き・横書きとし、ワープロ印刷とする。

2.2 フォーマット

本文は10ptの文字で約25文字・約50行・2段組（約2500文字）とする。左右マージン19mm，上マージン22mm，下マージン32mmをとる。コラム幅82.5mm，コラム間隔7mmとし、フォントは明朝体を使用する。

3. 原稿作成要領

3.1 タイトル

左右中央に16ptで題名を書く。2行にわたる場合は14ptの文字を使用し、行頭を1行目の行間をつめて11mmに納める。（この用紙の例を参考に）

タイトルに商品名等は用いない。

3.2 著者名

所属、氏名は大きさ10ptで、右づめで書く。人数が複数で同一所属の場合には氏名のみを列挙する。また、人数が多い場合には2行にする（この用紙の例を参考に）。講演者の前に○印（講演時、学生講演者は●印）を付ける。

4. 本文

4.1 本文の書き方

本文は10ptの大きさで一行25文字・2段組で記述し、書き出しは6行目とする。氏名欄が2行の場合は7行目

から書き出す。句読点は、カンマ（,）ピリオド（.）を使用する。

目的、実験方法、実験結果、考察、結果等の見出しはゴシック体を使用し、アンダーラインは使用しない。

本文は簡明な文章を用いて記述する。

文献及び謝辞は省略する。

4.2 図表及び写真

図・表及び写真は原稿に直接取り込む。図・表に付記する文字は9ptを使用する。キャプションは日本語で記述し、図・表の画像データとは別にテキストとして貼りつける。

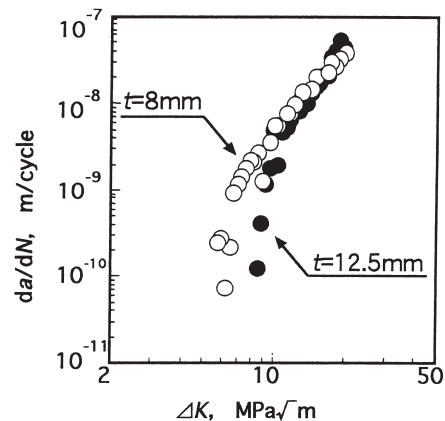


図1 ADIの亀裂進展特性

5. その他の注意事項

(1) 原稿は、間違いのないよう著者において十分見直しをすること。上記の要領に合わない場合は、修正を求める場合がある。

(2) 原稿中で使用する単位はSI単位とし、その他一般的な事項は、本会の「論文執筆要領」に基づいて記述する。なお、講演概要の別刷りは行わない。

(3) 日本鑄造工学会のホームページに概要テンプレートがあるので利用する。

<http://jfs.or.jp/>

原稿送付先

e-mail: jfs-henshu@jfs.or.jp

受付はメールのみ。メールができない環境の場合は事務局に相談する。

ファイル名は「172-○○○」（○○○は講演番号または受付番号）」とする。

PDFファイルで送らない。

32 mm